

■ 施策評価シート

施策番号	18-01-①	まちづくりの基本方針	「活気」があふれるまちへ
		分野	農林水産
		基本方針	農業の振興
施策名	持続的・安定的な農業経営の確立		

施策の概要
 新しい技術や生産方式の導入を進めつつ、生産・流通の改善を図り、安定した農業経営の確立を図ります。また、草津ブランドの促進や6次産業化等、農業の持続的な発展を図ります。

成果指標(単位)	認定農業者数(件)				
	平成28年度 (※基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	72	72	72	72	72
実績値	74	65	64	62	—

成果指標実績に対するコメント
 新規で認定農業者となった経営体が1件あったが、一方で高齢や規模縮小等を理由として更新を行わない経営体が3件あり、前年に比べ2件減少となった。

施策の達成度評価
 目標は認定農業者数の維持であるが、高齢化や規模縮小等に伴う減少が進んでいる。

評価に基づいた令和3年度の取組についての考え方
 今後も高齢化等に伴う認定農業者数の減少が想定されることから、新規の認定農業者を増やすため、認定のメリットとなる施策や支援措置の周知を図る。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
草津ブランド力強化事業	農林水産課	○	草津ブランド推進協議会において、新たに加工品・工芸品8品目を草津ブランドとして認証するとともに、PRや販売促進を行った。
水田営農推進事業	農林水産課	○	全集落を対象とした農業懇談会や米の情報提供説明会を通して、制度の周知とともに、需給調整の促進を図った。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
担い手育成支援事業	農林水産課
畜産振興対策事業	農林水産課
農業者年金運営事業	農業委員会事務局

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった
 ※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	18-01-②	まちづくりの基本方針	「活気」があふれるまちへ
		分野	農林水産
		基本方針	農業の振興
施策名	農地の保全と農業的土地利用の増進		

施策の概要

未整備地域の整備や農地の保全による優良農地の確保と併せ、担い手への農地集積など農業的土地利用の増進を図ります。また、営農環境の整備のため草津用水二期事業等を促進します。

成果指標(単位)	担い手への農地集積率(%)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	52.0	53.4	54.8	56.2
実績値	50.6	58.5	63.2	63.5	—

成果指標実績に対するコメント

担い手への農地集積率は前年度より0.3ポイント増加した。利用権設定の活用が増加したことから実績値の向上に繋がった。

施策の達成度評価

目標値に対する実績値の達成ができた。さらなる担い手への農地の利用集積が図られるよう、農業委員、農地利用最適化推進委員、JA草津市などと連携する必要がある。

評価に基づいた令和3年度の取組についての考え方

土地改良事業に対する支援により、計画に基づいた優良農地を確保するとともに、関係機関との連携によって、担い手への農地の集積・集約化を図る。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
農業振興地域整備計画策定事業	農林水産課	○	平成30年度に導入したGISシステムによるデータ管理により、農用地区域の適正な管理を行った。
有害鳥獣捕獲事業	農林水産課	○	捕獲の実施や、集落に設置された侵入防止柵の環境点検により、有害鳥獣による農作物被害の減少に努めた。
土地改良区事業費補助金事務 (草津用水・北山田畑地)	農林水産課	○	土地改良区が実施する土地改良事業に対する支援により、農業用施設の機能維持および更新に努めた。
土地改良事業費補助金事務	農林水産課	○	地元主体で取り組む土地改良事業に対する支援により、施設の機能維持および更新に努めた。
農業委員会運営事業	農業委員会事務局	○	法令に基づく許認可事務の適正な執行、農業委員会の適正な運営に努めた。また、農業委員や農地利用最適化推進委員、関係機関等と連携し、『農地等の利用の最適化の推進に関する指針』に定めた「遊休農地の解消」、「担い手への農地利用集積」、「新規参入の促進」に向けた取組を行った。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
人・農地問題解決加速化支援事業	農林水産課
農地中間管理事業	農林水産課
ほ場整備地元負担軽減補助金事務	農林水産課
土地改良事業推進対策事務	農林水産課
土地改良施設維持管理事業	農林水産課
土地改良事業関係団体負担金事務	農林水産課
県土地改良事業費負担金事務	農林水産課
馬場山寺基盤整備推進事業	農林水産課
農地基本台帳整備事業	農業委員会事務局

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	18-01-③	まちづくりの基本方針	「活気」があふれるまちへ
		分野	農林水産
		基本方針	農業の振興
施策名	市民ニーズに応える地産地消の推進		

施策の概要
 食育と連携した地産地消の流通システムを構築し、農業の多面的機能への市民理解や地元農産物への信頼向上等、生産者と消費者の結びつきを強めます。

成果指標(単位)	地元の農産物を購入するよう心掛けている市民の割合(%)				
	平成28年度 (※基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値		67.0	68.0	69.0	70.0
実績値	51.5	49.5	46.8	42.8	—

成果指標実績に対するコメント
 市が参画する草津ブランド推進協議会において、草津ブランド市の開催や各種イベントに出店したほか、草津市青年農業者クラブや湖南農業高校との連携による次世代マルシェを開催した。また、道の駅草津やおおばな館、市内小売店等で地場産コーナーを設け、地産地消に努めたが、市民意識調査の結果、地場産野菜を購入するよう心掛けている市民の割合は、前年度より4ポイント減少した。

施策の達成度評価
 草津ブランド市や次世代マルシェ等の開催により、地場農産物を直接、PR・販売することで、地場農産物への理解や信頼向上に努めた。また、SNSを通じて、農業者や生産現場となる農場の紹介を行い、地場農産物の浸透の強化に努めた。

評価に基づいた令和3年度の取組についての考え方
 地産地消の理解が浸透し、購入に繋げるには、継続的な普及・啓発が必要と考えられる。引き続き、関係機関との連携によるPRを行うとともに、市内飲食店舗での地場産野菜の利用拡大等を通じて、地産地消の取組を進めていく。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
「道の駅草津」管理運営事業	農林水産課	○	農水産物振興の拠点施設として、日常的な管理運営と都市住民との交流を図った。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未達の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「活気」があふれるまちへ
分野	農林水産
基本方針	農業の振興

施策番号	18-01-④
施策名	「農」のあるまちづくり

施策の概要
 環境に配慮した市民生活にうるおいをもたらす農業・農村環境の保全を図るとともに、市民が「農」とふれあう機会の場を創出します。

成果指標(単位)	農業体験に参加した人の数(人)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	1,850	1,900	1,950	2,000
実績値	1,770	1,885	1,681	1,686	—

成果指標実績に対するコメント
 たんぼのこ体験事業は全小学校で実施できた。また、市が参画する草津市農業振興協議会が実施する市民農園も利用者が増加し、実績値の向上につながった。

施策の達成度評価
 成果指標の目標値は達成できなかったものの、子ども達が農業体験を通じて、食の大切さや自然環境について学ぶことができた。また、草津市手作り市民農園の運営によって、市民が広く自然と触れ合い、農業に親しむ機会を創出できた。

評価に基づいた令和3年度の取組についての考え方
 たんぼのこ体験事業については、引き続き全小学校の実施となるよう、田植えだけでなくプランター栽培の活用等必要な支援を行っていく。また、市民農園については、満園になった際、JA草津市や個人運営の貸し農園を紹介する等、市全体の農業体験者数増加に努める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
農業多面的機能発揮促進事業	農林水産課	○	地元の団体において活動が実施されており、農地や水路等の農業生産基盤の機能維持が図れた。
農業振興対策事務(たんぼのこ体験事業)	農林水産課	○	全小学校が事業を実施し、食の大切さや自然環境について学ぶ機会の創出が図れた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
環境保全型農業支援事業	農林水産課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「活気」があふれるまちへ
分野	農林水産
基本方針	水産業の振興

施策番号	18-02-①
施策名	水産業の経営の安定化

施策の概要
 高付加価値の加工製品の拡大等により、水産業の経営の多角化・安定化を促進するとともに、地元水産物の消費拡大を図ります。

成果指標(単位)	地元の水産物を購入するよう心掛けている市民の割合(%)				
	平成28年度 (※基準値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値		26.0	27.0	28.0	29.0
実績値	25.3	26.4	23.9	21.7	—

成果指標実績に対するコメント
 市民が直接水産物と触れ合うことができる水産まつりをはじめとするPR活動により、地元の水産物の消費意識の向上に努めたが、市民意識調査の結果、地元の水産物を購入するよう心掛けている市民の割合は前年度に比べ、2.2ポイント減少した。

施策の達成度評価
 地元水産物の消費意識の向上に繋がらなかったものの、水産まつりの人気は高く、魚とのふれあい体験や試食販売等を通じて水産業の振興を図ることができた。

評価に基づいた令和3年度の取組についての考え方
 今後のさらなる水産振興のため、漁業協同組合等各関係機関と連携を図りながら水産まつりなどを開催する。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
水産振興協議会活動補助事業	農林水産課	○	草津市水産振興協議会への支援を通して地元産水産物のPRに努めた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

まちづくりの基本方針	「活気」があふれるまちへ
分野	農林水産
基本方針	水産業の振興

施策番号	18-02-②
------	---------

施策名	漁場環境の保全と漁業資源の確保
-----	-----------------

施策の概要
 天然の産卵繁殖場など漁場環境の保全に努めるとともに、漁業資源の安定を確保するため“獲る漁業”から“つくり育てる漁業”への転換を進めます。

成果指標(単位)	漁獲量(kg)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	(※基準値)	26,500	26,500	26,500	26,500
実績値	27,067	25,095	21,064	17,997	—

成果指標実績に対するコメント
 昨年度に引き続き、水草の刈り取り等漁場環境の保全活動を行ったが、漁獲量の実績は、昨年度に比べ3,067kg減少した。

施策の達成度評価
 琵琶湖の日に行う、ごみ回収等の琵琶湖の漁場環境の保全活動により、在来魚が生育しやすい環境づくりや、琵琶湖を利用する人にとっての良好な環境づくりに寄与することが出来た。

評価に基づいた令和3年度の取組についての考え方
 今後もごみの回収等を通じて琵琶湖の漁場環境の改善および保全に取り組む。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
漁港管理事業	農林水産課	○	指定管理者による適切な漁港管理を行うことができた。
水産業振興対策事業	農林水産課	○	HP等を通して草津市が淡水真珠の発祥の地であることをPRできた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。